

令和8年 総代会役員が決まりました

会 長	前田 憲一	(小山)	会 計	小山 登	(雷)
副会長	島田 晴示	(下平田)	会計監査	福井 健	(大根田)
//	柳谷 秀隆	(岡)	//	藤本 善紹	(島庄)

大 字	氏 名	大 字	氏 名
御 園	上 田 剛 義	尾 曾	浦 野 喜 徳
檜 前	友 田 昌 克	冬 野	石 田 順 治
檜前緑ヶ丘	藤 森 富 夫	畑	山 尾 佳 輝
檜前緑台	大 平 謙 治	入 谷	森 本 博 文
檜前いおり野	米 田 朋 起	栢 森	古 川 雅 章
阿部山	田 中 祐 二	稲 渕	山 本 浩
大根田	福 井 健	阪 田	山 原 伸 彦
栗 原	原 実	祝 戸	橋 本 晃 伸
上平田	中 谷 善 紀	橘	吉 田 宗 玄
中平田	凧 晃 生	立 部	杉 本 良 美
下平田	島 田 晴 示	野 口	上 島 誉 富
南平田	門 地 壯 哲	川 原	井 本 喜 典
越	阪 本 繁	飛 鳥	吉 田 睦 久
真 弓	川 島 孝 雄	豊 浦	吉 田 幸 央
地ノ窪	西 口 誠 紀	雷	小 山 登
岡	柳 谷 秀 隆	小 山	前 田 憲 一
島 庄	藤 本 善 紹	奥 山	花 本 純 一
上 居	谷 口 憲 一	八 釣	吉 川 磨 佐 弘
細 川	西 田 修 也	東 山	山 口 文 男
上	福 田 雅 一	小 原	上 田 能 宏

(敬称略)

トイレカー購入

大規模山林火災や台風による大雨などの災害が全国各地で発生しており、被災地では衛生保持が課題の一つとなっています。

村では国の補助制度を活用して「トイレカー」を購入配備しました。

簡易トイレ等に加えて、機動性があるトイレカーも発災時の備えや景観維持活動・地域活性化事業などで有効活用します。



▲村の風景がラッピングされた車両

2/23

第29回 明日香村まると博物館フォーラム

今年は「斉明天皇と筑紫」と題してJR九州ホール（福岡県）で開催し、300名の方にご来場いただきました。

【主催】明日香村・読売新聞社

【共催】（公財）古都飛鳥保存財団・世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会

【講演1】

「語り伝えられる斉明天皇」

國學院大學教授 上野 誠 氏

【講演2】

「斉明天皇と筑紫・飛鳥」

関西大学名誉教授 西本 昌弘 氏

【パネルディスカッション】

「筑紫と飛鳥」

・パネリスト

上野氏

西本氏

明日香村文化財課長補佐 西光 慎治

・コーディネーター

読売新聞橿原支局長 関口 和哉 氏



▲古代衣装姿で挨拶する村長



▲意見交換に多くの方々が耳を傾けていました

南都明日香ふれあいセンター犬養万葉記念館 春を告げる声に想う犬養万葉記念館だより

あしひきの山谷越えて野づかさには今は鳴くらむ
うぐひすの声 （巻17・3915 山部宿祢赤人）

山や谷を越えた先の野の高みに、今まさに鶯が鳴いていることだろう——。山部赤人によって詠まれた一首です。

鶯は、万葉の時代から現代に至るまで、春を告げる鳥として人々に親しまれてきました。千年以上の時を隔てても、春の訪れに心を寄せる感性は変わらないことに、万葉の歌の不思議な力を感じます。約1300年前の歌でありながら、ふとした瞬間に「わかるなあ」と思える気持ちが見つかることも、万葉集の魅力の一つではないでしょうか。時代を越えて響く“共感”が、私たちを万葉の世界へとつなげてくれているように思います。

4月1日は、万葉集の魅力を広く伝え続けた犬養孝先生の誕生日です。今年は生誕119年にあたりです。来年の生誕120年に向けて、犬養万葉記念館でも、あらためて先生の歩みや万葉の世界に親しんでいただけるような機会を考えてまいります。

当館は令和7年10月1日にリニューアルオープンし、半年が経過しました。令和8年1月からは「Cafe de Manyo!」の運営も開始し、ご来館の皆さまからのご意見を参考に、より親しみやすい施設づくりに努めております。

春のひとつき、万葉の歌に耳を傾けながら、記念館へ足をお運びいただければ幸いです。

記念館の取り組み等は、HPでも随時発信しています。二次元コードを読み取り、のぞいてみてください。



▲公式HP

- ・開館時間 10時～17時
- ・カフェ営業時間 11時～16時
- ・休館日・定休日 月曜日
(祝日の場合は翌火曜日)

☎54-9300 WEB: <http://inukai.nara.jp/>